

**有機農業と地域振興を考える**

**自治体ネットワーク準備会合**

**2018.11.20 於:全国都市会館**

**兵庫県丹波市の取組について**



丹波竜のちーたん

**兵庫県丹波市(産業経済部農業振興課)**

# 1. 丹波市の概況

平成16年11月1日に氷上郡柏原町・氷上町・青垣町・春日町・山南町・市島町が合併して丹波市が発足

平成30年1月末現在

人口 64,763人

面積 493.21Km<sup>2</sup>

山林 75.3%

農地 11.4%

→ (県土の5.9%を占める) [県下で5番目の広さ]

→ 中国山地の東に位置する中山間地域

(0.3ha以上の区画農地が占める割合約30%)

**気候** 瀬戸内海型、内陸型気候

年間、昼夜間の寒暖差が激しく、秋から冬にかけて発生する丹波地域の山々をつつむ朝霧、夕霧は「丹波霧」と呼ばれています。

年平均気温 13℃～14℃

平成18年国内最大級の植物食恐竜(全長15m)の化石発見!

近畿三大都市から車でほぼ1時間半!

黒井城跡から望む雲海





## 2. 丹波市の特産物

丹波大納言小豆



丹波黒大豆



他にも山の芋、黒ゴマ、  
鹿肉・猪肉など

ブルーベリー



丹波栗



特別栽培米夢たんば



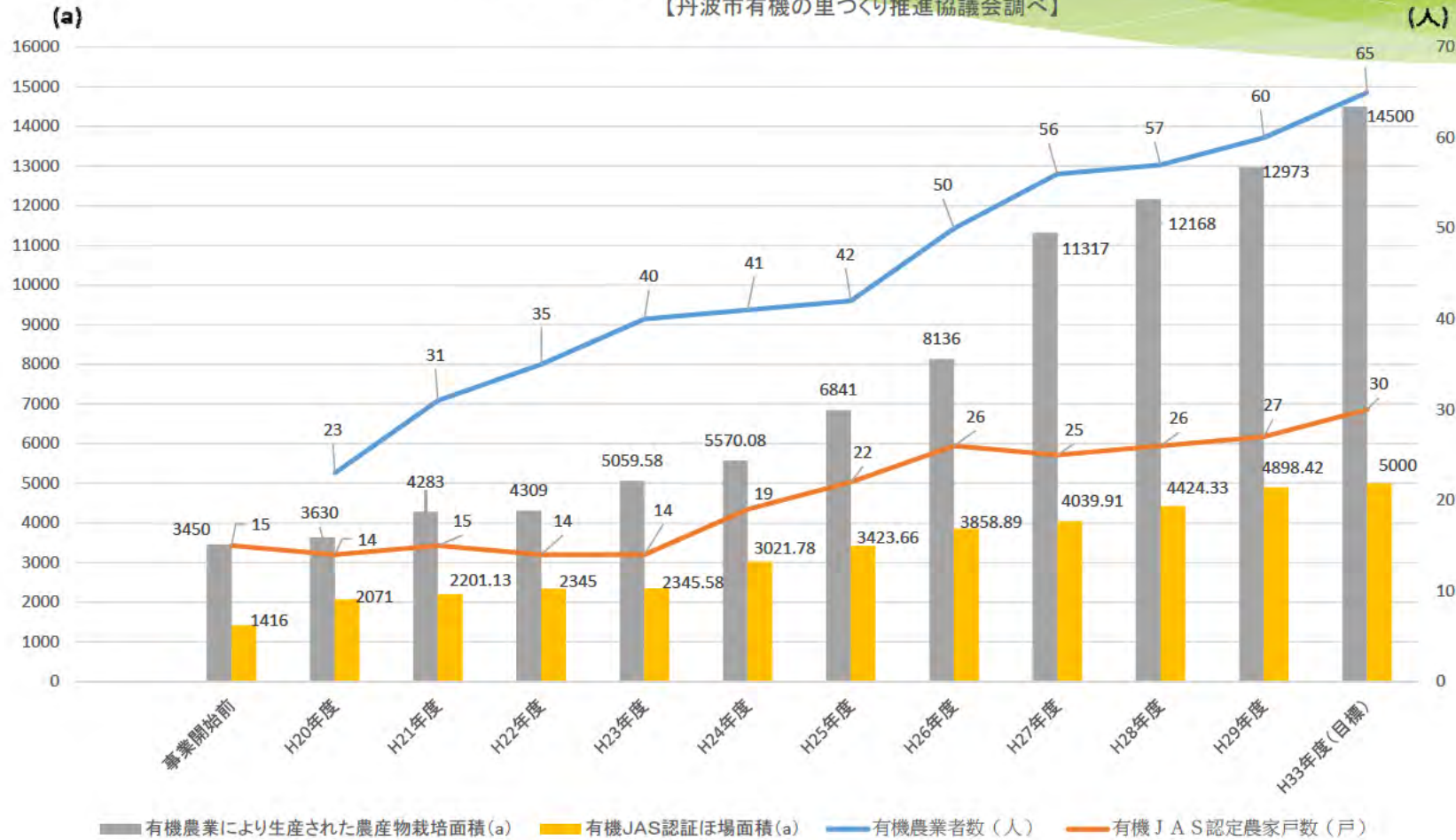


### 3. 丹波市における有機農業のあゆみ

- ・1975年 兵庫県氷上郡市島町で市島有機農業研究会発足。
- ・1992年 市島町直営の堆肥センター「有機センター」を稼働。
- ・2001年 市島町が第7回環境保全型農業推進コンクールで大賞となる農林水産大臣賞(近畿地方)を受賞。
- ・2003年 市島町が環境保全型農業等推進特区に認定。
- ・2004年 氷上郡の6町が合併し、丹波市発足。
- ・2008年 市島有機農業研究会の呼びかけで丹波市有機農業研究会発足。研究会に市、JAも参画し「丹波市有機の里づくり推進協議会」発足。協議会が「有機農業モデル地区」に。
- ～現在 オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業実施

# 4. 丹波市の有機農業の概況について

有機農業に関わる人数及び面積の推移  
【丹波市有機の里づくり推進協議会調べ】





## 5. 丹波市の有機農業への取組方針について

・第2次丹波市総合計画(平成27年3月策定)

➤ 施策目標 「環境創造型農業で丹波ブランドを高めよう」

・有機農業をはじめとする環境保全型農業により、付加価値の高いブランド創出を目指す。

・丹波市農業・農村振興基本計画(平成28年6月策定)

➤ 基本理念 「丹波ブランドを活かした元気な農業・農村づくり」

・安定した農業経営の展開と農家所得の向上(環境創造型農業の推進、丹波市ブランドの確立と新たな市場の開拓)

など、有機農業をはじめとする環境創造(保全)型農業の推進により丹波市ブランドを確立することを目指している。

## 6. 丹波市の取組状況について

### ➤ 丹波市有機の里づくり推進協議会の取組

- ・新規参入・転換者の受け入れ
- ・研修会の開催
  - 有機JAS認証取得等の制度研修
  - 栽培技術向上のための土壌分析講習会
  - 農業経営向上のための講習会など
- ・加工品の開発及び実需者への意向調査 など



有機農産物のB級品を使ったドライトマト

有機農業フォーラムの様子



### ➤ 市の現在の取組

- ・市民への周知
- ・効果的な取り組みについての検討
- ・有機農業に取り組む新規就農者の確保
- ・有機農業者への補助 など



## 7. 丹波市の抱える課題について

### 1. 有機農業への参入

- ・農業者の高齢化が進み、新規就農者の人材育成強化が必要
- ・中山間地域であるため農地が限られており、有機農業実施面積を増やすには新規参入だけでなく、慣行農業からの転換が必要

### 2. 流通・販売

- ・少量多品目栽培が多く、ロットが集まらず、大口の需要に応える供給体制の構築ができていない
- ・個人消費者との少量取引が主流となっており、輸送コストがかかり所得の増加につながりにくい

### 3. 丹波市ブランドの確立

- ・長年かけて研修会などを実施してきた成果として地域に合った栽培技術が確立しつつあるが、地域として栽培品目を絞ってブランド化するまでには至っていない。

### 4. 消費者の理解

- ・有機農産物等や有機JAS制度、環境創造(保全)型農業などへの認知度や理解度が不十分



## 8. 今後の取組について

発祥の地から生産地へ、そして耕畜林連携による循環型社会の構築へ！！

### 1. 新規就農者・転換者の確保・育成

- ⇒ 「農(みのり)の学校」開校(H31.4～)、定住促進との連携
- ⇒ 丹波市有機の里づくり推進協議会による就農・技術・制度などの相談体制の整備

### 2. 流通・販路の拡大

- ⇒ 生産物販売拠点、就農・定住促進拠点などの整備【プラットフォームの設置】
- ⇒ 丹波市有機の里づくり推進協議会による実需者との交流会の開催・展示会への参加による販路開拓

### 3. ブランド力強化

- ⇒ 地域の理解と循環型社会構築へ向けての意識の醸成
- ⇒ 環境創造型農業推進懇話会での検討、市独自認証の確立を目指す

### 4. 消費者の理解の増進

- ⇒ 丹波力・有機力の強化と発信(有機フォーラムの実施、味覚フェアの開催等)



ご清聴ありがとうございました。